

V - 359

## 観音寺高架橋の長期計測について

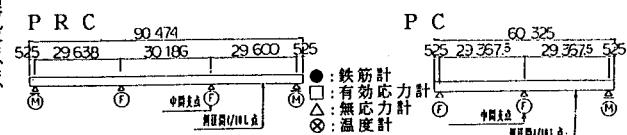
敬司雄 博信 田内田 室山曾 員員員 会会會 正正正 住住住 友友友 建建建 設設設 (株) (株) (公) 团

## I. 業務概要

本報告文は、この計測結果についてまとめたものであり、その主な内容は以下の通りである。

- 。すす  
るる  
。すす  
討計  
検査  
ををる  
ののを  
性性  
当討當  
妥妥  
ののを  
性性  
比比設  
較較計  
とと  
値値  
とと  
計計  
設設  
設設  
調調  
をを  
度度能  
行行事  
進進の  
縮縮  
一收取  
り燥燒  
ク乾温  
長長長  
期期期  
①②③  
おおお  
るるる  
けけけ  
るるる  
おおお

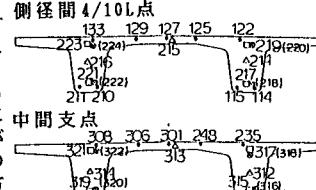
着試ち4も  
に荷う間た  
測載の怪れ  
計橋の側さ  
期実もび置  
長、たよ配(四  
はしおに



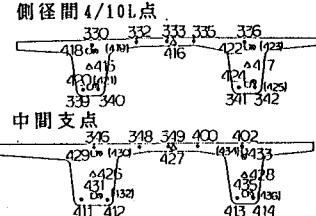
## 1-1 計器位置図

### 三、乾燥収縮用

計えうるにがの方に一力加。すも歪さ示)く図応をた較と縮厚橋記よ無正し比部収想路略的2、補とC燥仮道と較は度値とP乾のた示比図歪温測ブ、が材し道と(縮に実ラ部方部慮、値る)取値をS/Cの、考下計い燥計のとRブくを以設て乾設もブPラき響(る)のたエとス大影響よ



单位(μ)



## 図-1 計器位置図

「また、側間」

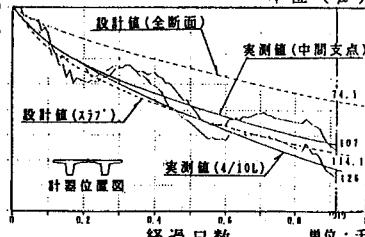


図-2 乾燥収縮歪  
(PVC中間支点)

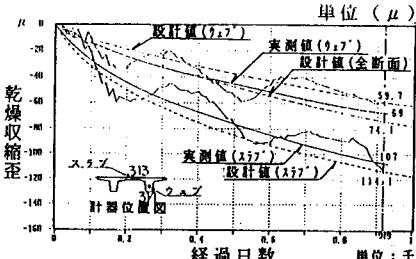


図-3 乾燥収縮歪  
(PVCスラブ)

乾燥収縮歪  
乾燥収縮歪  
間の置体乾ばしと、側の大件点支較触乾にの（5径中值位全合ほにこる。）  
中す部に点が条支、比接が行る一側と測に物場はりるき  
と較Cも10行境間脚、の）進いき図、点害間造た歪通いで  
点比Rと1/進環中橋りといので、は10の中構え縮值で認  
10LをP部4が、（はあ気な縮し認3値4/点ば、考収計し確  
1/点、C間く差にが外少取響確一計4支ばしで燥設行が  
支とP径ほきの部承的が燥影が図設間の置体乾ば進と

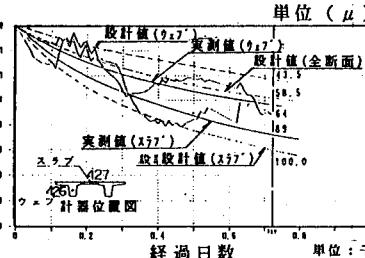


図-4 乾燥収縮歪  
(P C 中間支点)

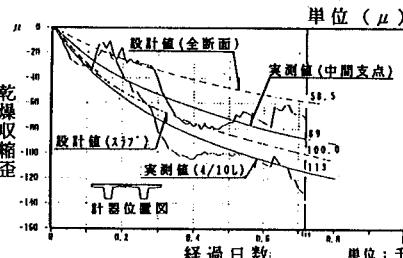


図-5 乾燥収縮歪  
(P Cスラブ)

乾燥収縮の度には明確な差は認められなかつた。

の歪ら無度差とはちの大径S点とヘリCも間も計推がす  
ブ歪全か(温ての点わトの側上支)6クRと中ら設での。対  
ブ、歪をえも目な一度(点間側一りP部、ちる値るるに  
クリーは計縮)加た着すリ力所10申下図よはC間どよいいき度  
クリ値筋取計をい。歪ク応箇1、ブ。9歪P径のに近てて温  
ク測鉄燥力正引る性ン縮い4ブエる一ブ、側点示にし認  
実(乾応補しす弾コ压き問ラウす図一部に支道値移確V

## V<sub>1</sub> 温度に対する考察

①床版温度差について

- 5 温こ、中直し（で橋のて）  
1 のこべ、鉛査点向本℃し  
～桁。調エ桁調時方ら5布  
5 主るをウ主をい直か1分  
にとい布、たき鉛図へで  
間版分はし大桁の℃形  
下床し度0とつも主こ5い  
上と温1準ビ最の。の近  
のつる一基間のでの示に  
版よす向図を時差）あ道定  
床に生方。計1度0では想  
て、れ発直た度、温0の布の  
いは、れが鉛つ温季版：も分で  
つで、力桁なの夏床7た度示  
に書じ応主行属（の1し温道）。化温いしの間期なはれ  
差方生ののを付布で2.示の、る変体さと時径周と値さ  
度示が当で較計分中2を桁りか度全小と6側年動計察  
温橋差相橋比力度間。布主あわ温ののこ朝は1変設推  
版路度℃実の応温期7分とでが体体差る毎1、のると  
床道温5、と無の査、度版内の全橋軽いて1り℃よる  
の差は示の向調4、温床図る② 日用し一あ8にあ

VI. まとめ  
 計測本構成と結果のクレープの状態で、乾燥による縮りが床材と取扱いによって異なる。この結果は、橋の構造全般に影響を与える。そこで、橋の構造を考慮して、橋の温度変化による影響を計算する。計算結果によると、橋の温度変化による影響は、橋の構造によって異なる。また、橋の構造によって、橋の温度変化による影響が異なる。したがって、橋の構造によって、橋の温度変化による影響が異なる。

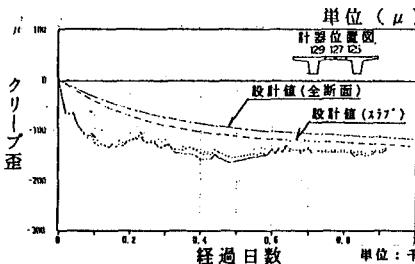


図-6 クリープ歪  
(P.R.C 4/10L慮スラブ)

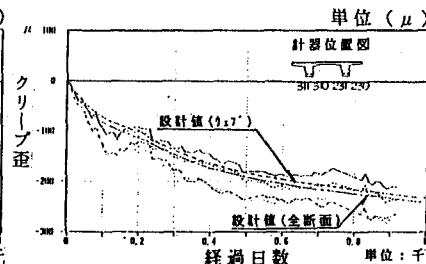


図-7 クリープ歪  
(P.R.C.由間支点より)

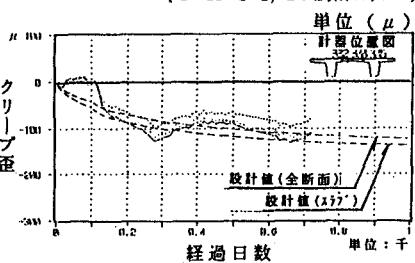


図-8 クリーク歪  
(P.C.4/101点法)

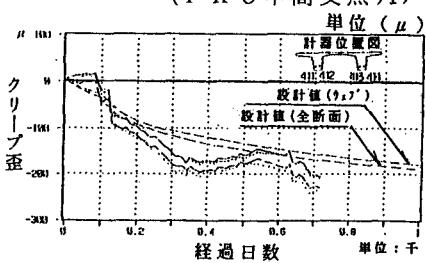


図-9 クリープ歪  
(P.C.由間支点より)

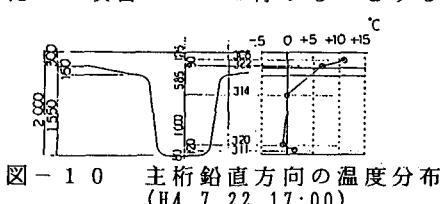


図-10 主桁鉛直方向の温度分布  
(H4.7.22 17:00)

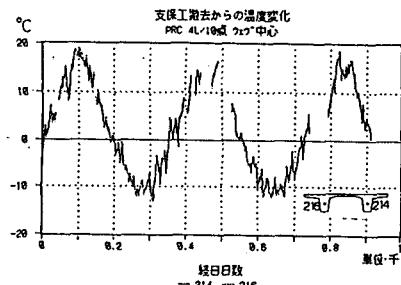


図-11 支保工撤去からの温度変化  
(P.R.C.4/101点)